

日本バドミントン学会 第5回学会大会

プログラム

開催テーマ：地域におけるバドミントンと科学を繋ぐ

日時：2022年3月6日（日）

場所：オンライン開催

<大会概要>

期日：2022年3月6日 9:20-18:00

場所：オンライン

参加費：正会員 1,000 円・学生会員 1,000 円・非会員 2,000 円

大会長：有吉 晃平（大阪体育大学）

実施形態：オンライン開催

参加方法：参加申し込み方法の詳細は HP をご確認ください。

参加申込〆切：3月4日（金）17:00 まで

※ 3月4日付までに入金確認ができるようお振込みください。参加費の振り込みが確認でき次第、ZOOM の URL、抄録集をお知らせ致します。

○プログラム日程

- | | |
|-------------|------------------|
| 9:20～9:30 | 開会式 |
| 9:30～10:30 | 基調講演 |
| 10:40～12:10 | シンポジウム |
| 12:20～12:50 | 総会 |
| 13:40～15:04 | 一般演題発表①（学生セッション） |
| 15:14～16:50 | 一般演題発表② |
| 16:55～17:05 | 閉会式 |
| 17:10～18:00 | オンライン情報交換会（座談会） |

<内容>

9:20～9:30 開会式

9:30～10:30 基調講演

「スポーツファンのマーケティング」

講演者：藤本淳也（大阪体育大学）

コーディネーター：有吉晃平（大阪体育大学）

10:40～12:10 シンポジウム

バドミントン競技でのゲーム分析

登壇者：「トップレベル競技者に向けた映像分析支援」

平野加奈子（日本バドミントン協会ナショナルチームパフォーマンス分析）

「Excel の VBA 機能を活用したゲーム分析の紹介～数字が語りかけるもの～」

林 直樹（仙台大学）

「バドミントンにおける ICT 導入の可能性」

井上 翼（西日本工業大学）

コーディネーター：吹田真士（筑波大学）

12:20～12:50 総会

13:40～15:04 一般演題発表①（学生セッション）

※A 会場・B 会場は同時進行となります。

【A 会場】

座長：（発表 8 分，質疑 3 分）

S1-1 バドミントン・スマッシュにおけるシャトル速度と角速度の関係性

塩沼 直希¹⁾，林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S1-2 バドミントン・オーバーヘッドストロークにおける「ゼロポジション角度」と競技歴の関係

前田 陽向¹⁾，林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S1-3 バドミントン競技におけるハイバックハンドストロークに関する研究

本間 雄大¹⁾，林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S1-4 レベル別にみた大学生アスリートの自我同一性と精神的健康について
—スポーツマン的同一性、随伴的自己価値に注目して—

小川 由香¹⁾

¹⁾ 愛知学院大学

座長： (発表 8 分, 質疑 3 分)

S1-5 バドミントン競技の混合ダブルスにおける男女のラリー参加からみた
勝者-敗者間の比較

玉手 郁奈¹⁾, 林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S1-6 バドミントン・女子シングルスにおけるロングサービスに対する返球の分析

佐藤 美咲¹⁾, 須田 翔大¹⁾, 林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S1-7 足関節内反捻挫予防のテーピングがバドミントンのフットワークに及ぼす影響

杉山 大和¹⁾, 中田 貴子²⁾, 福田 崇³⁾

¹⁾筑波大学体育専門学群

²⁾筑波大学大学院人間総合科学研究群

³⁾筑波大学体育系

【B会場】

座長： (発表 8 分, 質疑 3 分)

S2-1 バドミントン競技のリアコートにおけるフォア側とバック側のスタッツ比較

須田 翔大¹⁾, 佐藤 美咲¹⁾, 林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S2-2 バドミントン・男子シングルスにおけるスマッシュエースまでの時系列パターンの
分析

武藤 大地¹⁾, 林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S2-3 バドミントン競技映像におけるフットワーク軌跡を用いた打点領域の検出

田中 直樹¹⁾, 宍戸 英彦²⁾, 吹田 真士³⁾, 亀田 能成²⁾, 北原 格²⁾

¹⁾筑波大学理工学群工学システム学類

²⁾筑波大学計算科学研究センター

³⁾筑波大学体育系

座長： (発表 8 分, 質疑 3 分)

S2-4 バドミントン・男子シングルスにおいてゲーム終盤にスマッシュを打つことの有効性

舘田 悠汰¹⁾, 林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S2-5 バドミントン競技・男子シングルスにおいてのスマッシュの重要性

山口 将史¹⁾, 林 直樹¹⁾

¹⁾ 仙台大学

S2-6 バドミントンの男子シングルス選手のリアコートにおけるオーバーヘッドストロークに関する研究

高上 麟龍¹⁾, 谷川 聡¹⁾, 河合 季信¹⁾, 松元 剛¹⁾

¹⁾ 筑波大学

15:14~16:50 一般演題発表②

座長： (発表 8 分, 質疑 3 分)

O-1 大学体育におけるバドミントン授業の実践事例 ―学生の特性・状況に合わせた授業の取り組み―

谷藤 千香¹⁾

¹⁾ 千葉大学

O-2 ディプロマ・ポリシーに基づいた大学体育バドミントン授業が受講者の学修成果に及ぼす影響 ―計量テキスト分析を用いた授業評価―

藤野 和樹¹⁾, 八田 直紀²⁾

¹⁾ 千葉商科大学

²⁾ 東京工業高等専門学校

0-3 小学生バドミントンクラブの練習状況と疼痛との関連：質問紙調査による横断研究

松村 将司¹⁾，栗原 靖²⁾

¹⁾杏林大学

²⁾城西国際大学

0-4 車いすバドミントン初心者に対する導入プログラムの検討2 一体験会の実践報告ー

牛木 鮎子¹⁾，齊藤 まゆみ²⁾，吹田 真士²⁾

¹⁾筑波大学体育系研究員

²⁾筑波大学体育系

座長： (発表 8 分，質疑 3 分)

0-5 バドミントンの競技分析 ー混合ダブルスと女子ダブルスー

加藤 幸司¹⁾

¹⁾慶應義塾大学

0-6 バドミントン競技における実用的なフットワークテストの考案および妥当性の検討

神田 潤一¹⁾，佐々木 さはら¹⁾，時任 敦²⁾，井藤 英俊¹⁾

¹⁾九州保健福祉大学社会福祉学部スポーツ健康福祉学科

²⁾聖心ウルスラ学園高等学校

0-7 バドミントン競技における見上げ動作時の眩しさの要因評価

岡本 香¹⁾，亀田 能成²⁾，宍戸 英彦²⁾，吹田 真士³⁾

¹⁾筑波大学大学院

²⁾筑波大学計算科学研究センター

³⁾筑波大学体育系

0-8 バドミントンにおけるゲーム分析のためのアプリ開発

井上 翼¹⁾，金 旼奎¹⁾

¹⁾西日本工業大学工学部総合システム工学科

16:55～17:05 閉会式

17:10～18:00 オンライン情報交換会 (座談会)

※大会参加者へは、別途抄録集を配布いたします。